

## SakaiからNGDLEへの展開

2016年9月13,14日

情報メディア教育研究センター

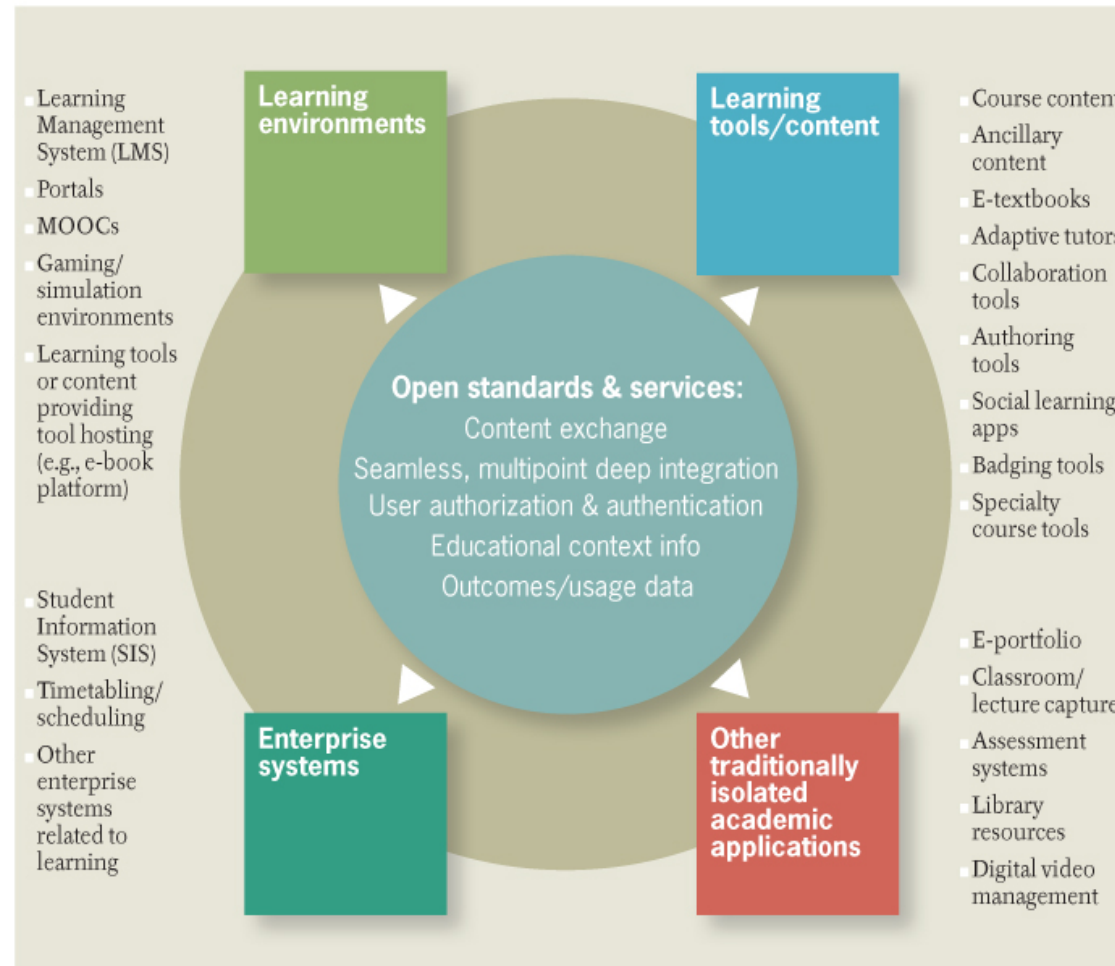
常盤 祐司

[yuji.tokiwa.dc@hosei.ac.jp](mailto:yuji.tokiwa.dc@hosei.ac.jp)

# New Architecture for Learning – EDUCAUSE 2013

## Connected Learning Environment

**FIGURE 1. A NEW ARCHITECTURE FOR LEARNING**



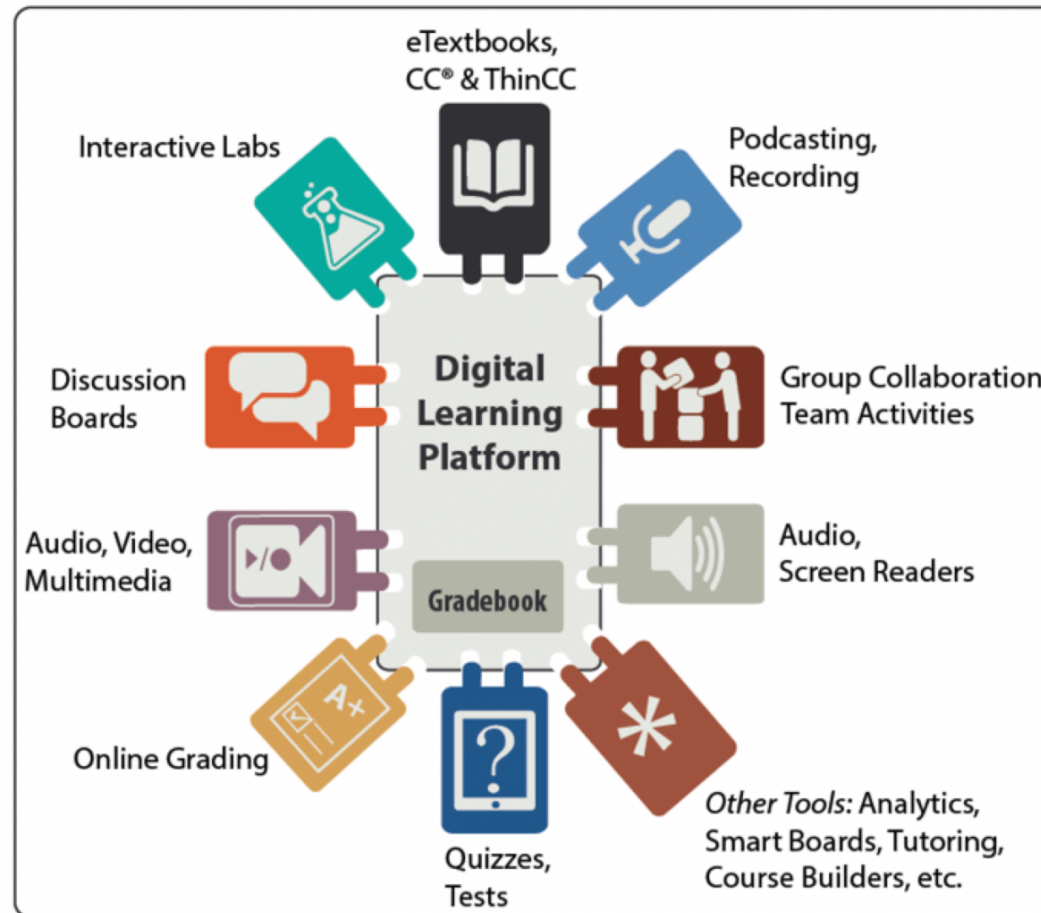
Rob Abel, Malcolm Brown, Jack Suess, A New Architecture for Learning, EDUCAUSE Review, Oct. 2013, <http://er.educause.edu/articles/2013/10/a-new-architecture-for-learning>

# システム間連携を担うIMS標準と主要なベンダー

異なるシステム間のデータ交換

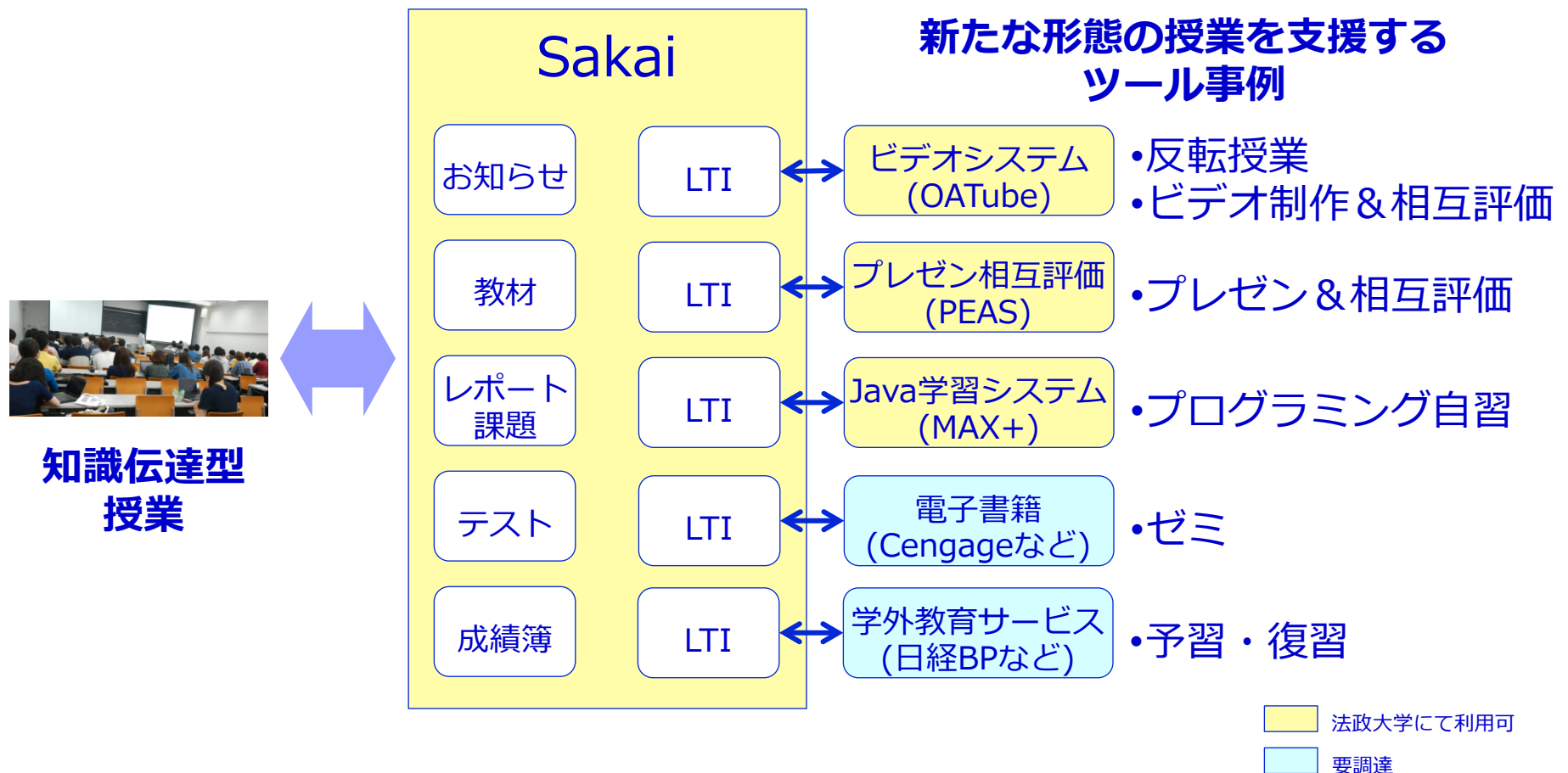


# LTIで実現されるツールのPlug & Play



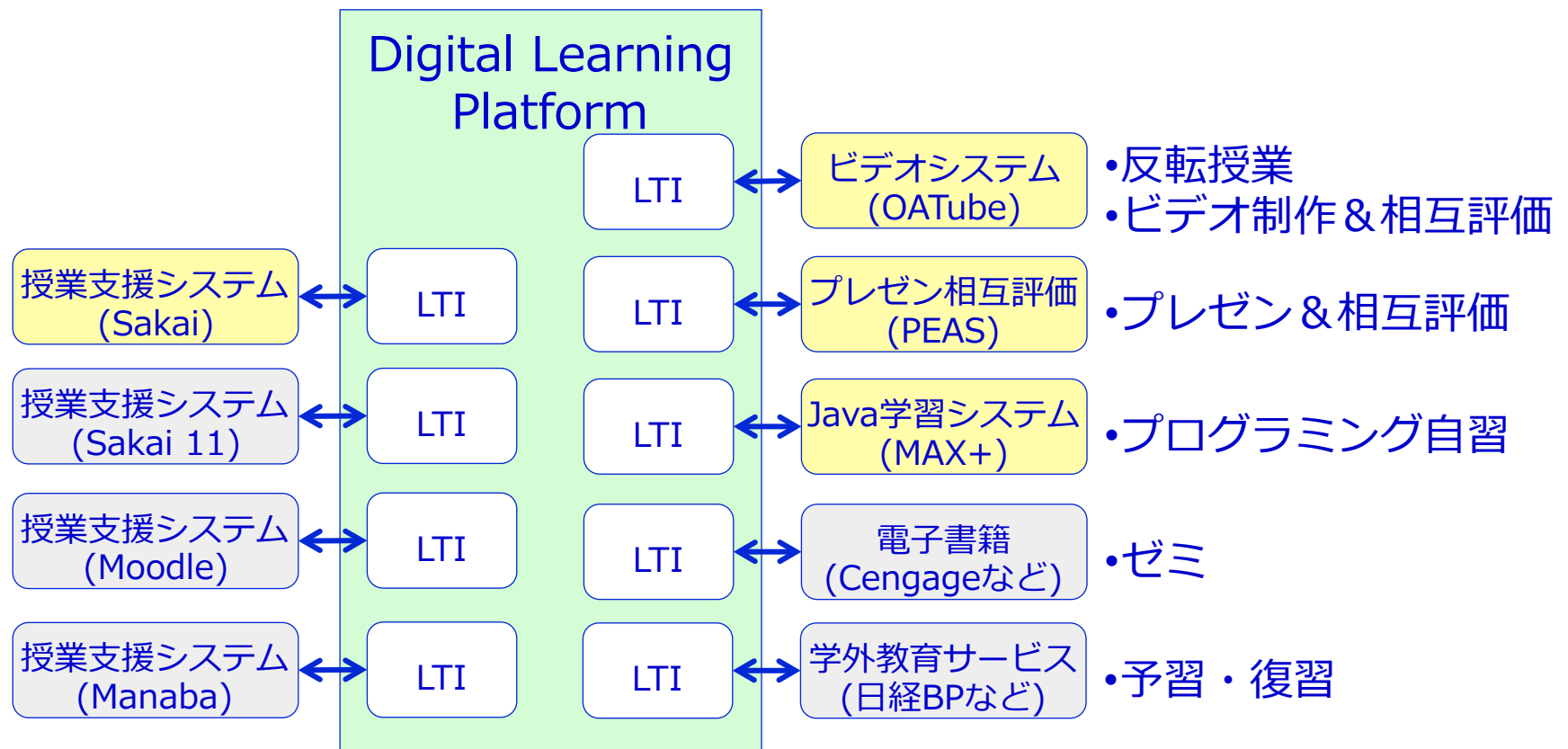
# NGDLEへの移行 – 移行期

既存の授業は現行の授業支援システムを使い、  
 新たな形態の授業はLTI接続した各種ツールを併用する。



# NGDLEへの移行 - ToBE

授業支援ツールのハブとしての役割を担うDigital Learning Platform  
で統合された教育支援環境事例



## 次世代へのドライバー(私見)

---

モバイル

クラウド

学習ビッグデータ

上述したそれぞれの要因にはプライバシーおよびセキュリティが必須となるが従属的な要因のため除いている。

# Discussion – NGDLEアーキテクチャー

## ■ Digital Learning Platformの役割

1. ユーザ(教員、学生)情報、授業科目情報、履修情報
  - 既存授業支援システム
2. 授業科目とは異なるグループ情報(学部、学科など)
  - ゼミ募集
3. 集約情報(学習ログ)
  - Learning Record Store

## ■ DLEおよび各種ツールの配置

- クラウド
- オンプレミス

